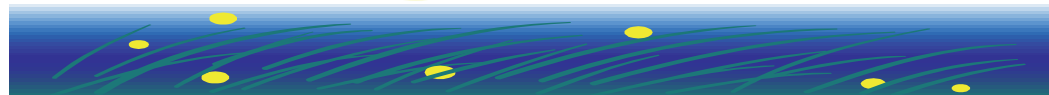


コウノトリの郷公園・公開ケージにおいて、4月16日にJ130（1993年4月13日生、メス）が死亡しているのを確認しました。

この日の朝、飼育員が餌容器の水を入れかえるため、ケージ内に入ったところ抜け落ちた多量の羽を見つけました。詳しく探すとケージ内の水路で死亡個体を見つけました。詳しい死亡原因は現在調べています。

特別観察会「ホタルの夕べ」のご案内 ホタルが現れるのはどんなところかな？コウノトリの郷公園でホタルを観察してみよう。

日程：平成20年6月13日（金）19：30～21：00
 対象者：小学生～一般
 （小学生以下は保護者同伴が望ましい。また、中学生以下のコウノトリの郷公園までの交通手段については、保護者で対応願います。）
 定員：30名
 内容：お話「ホタルの生活」、観察
 応募締切：平成20年6月11日（水）ただし、定員になり次第締め切ります。
 保険料：21円
 申込方法：次の～を明記したハガキ・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください。
 郵便番号・住所 氏名（ふりがな） 生年月日
 電話番号 「ホタルの夕べ」への参加を希望
 *個人情報保護法に基づき、個人情報の取り扱いについては、お問い合わせください。



飼育コウノトリの繁殖状況（2008.04.30現在）

親鳥	卵の数（個）					備考
	巣の中	孵卵器	無精卵	中止卵	破卵	
Tペア センター		3				3
Wペア センター		4				4
Rペア 郷公園		4				4
Lペア 三木拠点				5		5 擬卵4個を抱卵中
計		11		5		16

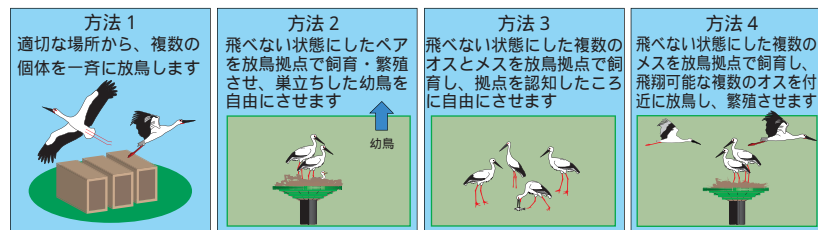
飼育コウノトリも繁殖行動を始めています。この繁殖状況を今月号からお伝えしていきます。

コウノトリの羽数（2008.4.30現在）

放鳥拠点にいるコウノトリは「飼育下」にいるものとし、放鳥拠点から解放もしくは巣立ちをした際に「放鳥コウノトリ」として数えます。
 したがって、現在三木放鳥拠点にいる親鳥は「飼育コウノトリ」として数え、繁殖行動が無事に進展した場合、幼鳥は巣立ちをもって「野外にいるコウノトリ」として数えます。

飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	合計
コウノトリの郷公園	28	33	61
コウノトリ保護増殖センター	17	18	35
三木放鳥拠点（方法2、H19.9.30着手）	1	1	2
計	46	52	98



野外にいるコウノトリの羽数

実施年度	放鳥方法	放鳥実績 / 野外での繁殖					回収 / 収容		死亡			備考	野外現存数
		放鳥、着手、または巣立ちした日	オス	メス	不明	合計	オス	メス	オス	メス	不明		
H17年度	方法1 平成17年9月24日放鳥		2	3		5	1		1			J0290回収、J0232死亡	3
	方法4 平成17年9月30日着手			2		2		2				ペア不成立のため回収	
H18年度	方法2 平成18年7月14日、21日巣立ち		1	1		2							2
	方法1 平成18年9月23日放鳥		1	2		3							3
	方法3 平成18年9月24日放鳥		2	2		4							4
H19年度	- 平成19年5月19日野外で孵化			1		1						平成19年7月31日巣立ち	1
	方法1 平成19年9月22日放鳥		2	1		3							3
	方法3 平成19年9月23日放鳥		1	1		2							2
H20年度	- 平成20年3月22日（確認）野外で孵化				3	3				1		百合地地区の人工巣塔	2
	- 平成20年4月20日（確認）野外で孵化				1	1						福田地区の人工巣塔	1
合計	- 平成20年4月28日（確認）野外で孵化				未確認	未確認						戸島地区の人工巣塔	未確認
合計			9	13	4+	26+	1	2	1	1			21+

問い合わせ先
 兵庫県立コウノトリの郷公園
 〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128番地
 TEL：0796-23-5666
 FAX：0796-23-6538

E-mail：kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
 URL：http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
 開園時間：9：00～17：00
 休園日：毎週月曜日（休日に当たるときはその翌日）
 リサイクルペーパーを使用

ヒナの孵化次々と 百合地地区の人工巣塔に続いて、ヒナの孵化がありました。今月号では、4月1日から30日までの出来事をお伝えします。

2例目は福田地区の人工巣塔で【図-】

ペアの放鳥コウノトリ J0384（2004年生れ、メス）と J0389（2004年生れ、オス）が繁殖行動をしている豊岡市福田地区の人工巣塔で、1羽のヒナが孵化しているのを巣塔近くの鉄塔に設置したカメラの映像により4月20日に確認しました（写真1）。今年の繁殖期における野外でのヒナの孵化は、3月22日に百合地地区の人工巣塔で確認された3羽に引き続き2例目となります。このペアは、昨年4月に豊岡市赤石地区の人工巣塔で産卵をしましたが、無精卵のため孵化にいたりませんでした。しかし、1年経ち少し大人になって無事にヒナを孵化させることができました。孵化後は、とてもよく動くヒナと、ヒナが食べきれないほどの量の餌を吐き出し、再び食べ戻している親鳥の様子がカメラの映像から観察できました。豊岡市福田地区は、昭和34年に豊岡市内で野生コウノトリの巣立ちが最後にあった場所で、この地から再びコウノトリが舞う日が来ることを心待ちにしています。順調にいけば、7月上旬に巣立つと予想しています。



写真1 ビデオ映像で確認したヒナ【の中】（4月20日撮影）

3例目は戸島地区の人工巣塔で【図-】

豊岡市城崎町戸島地区の人工巣塔で、交尾行動や巣作りをしていた放鳥コウノトリの J0294（2001年生れ、メス）と J0391（2004年生れ、オス）が3個の産卵をしているのを4月12日に確認しました。そして、4月28日に親鳥の吐き出し行動が観察されました（写真2）。この行動は、ヒナに餌を与えるときに見られるもので、ヒナが孵化したと推定されます。かつてこの巣塔付近の湿地には、平成14年に飛来した野生コウノトリがよく訪れており、現在は、豊岡市が「ハチゴロウの戸島湿地（仮称）」として整備を進めています。野生コウノトリが好んだこの地での巣立ちが期待されています。順調に行けば、7月上旬に巣立つと予想しています。



写真2 吐き出しをする J0294（4月28日撮影）